

# えいせい

NO. 34 2011年3月29日発行  
 発行責任者 森越 初美  
 TEL 03-5320-7412 (直)  
 内線 63-210  
 FAX 03-3349-1502  
 Eメール info@eiseikyoku-shibu.com  
 URL http://www.eiseikyoku-shibu.com

## 衛生局支部執行委員会は都知事選挙で革新都政をつくる会の

こ い け あ き ら

# 小池晃氏をすいせん決定!

### 小池晃氏の推薦決定について

革新都政をつくる会は、会の都知事選挙候補者「選考基準」(①会の政策「新しい福祉都市、東京へ」の実現をめざすたかひの先頭に立つ人 ②都政・国政での立ち位置が明確で論理力、政治力があり、知名度ともに幅広い共同拡大の要となる人 ③石原都政を都民の立場で確実に転換することを訴え、実現できる人 ④都知事として都民の立場で東京から国政の流れを変えられる人) からみて、小池晃氏(日本共産党前参議院議員)が相応しい人であると判断し、無所属候補として擁立することを決定しました。革新都政をつくる会の構成団体である東京自治労連は、これを受けて小池晃氏を支持することを決め、自治労連都庁職は推薦決定を行いました。

石原「構造改革」都政12年間で、都職員定数の大幅削減などによる労働強化、不払い残業の蔓延、メンタルヘルスの増加など、職場環境の悪化が進みました。また小泉内閣の「構造改革」路線を先取りした政策により、福祉は切り捨てられ、大企業のための開発事業「都市基盤整備」が優先されました。そして母子保健院の廃止、3小児病院の統廃合、都立病院PFI化、保健医療公社への移管、老人医療センターの独法化など、都の役割を投げ捨て、地域医療を破壊してきました。

また、保育制度の改悪、老人医療費助成の廃止、シルバーパスの全面有料化、障害者医療費の削減、一人親医療費の削減など福祉制度を後退させ都民生活が一層困難になりました。さらに、石原都知事の発言は、憲法を否定し、女性や障害者を差別し、都民の批判あびています。東日本大震災においては、「天罰」と発言し、被災者への配慮にかけると都民から抗議の声が殺到し、陳謝をしています。衛生局支部は石原都政に終止符を打ち、福祉都市東京への転換をはかるため、革新都政をつくる会が擁立した小池晃氏を推薦し、会の政策「新しい福祉都市、東京へ」を実現するために奮闘します。

衛生局支部は、①組合員の政党支持、政治活動の自由を保障し、政党支持を義務付けないこと。②一致する要求での協力共同。③首長選挙では支部の政策と一致、憲法擁護、革新自治体建設など、一定の基準に基づいて支持・推薦し、その当選のために活動することを支部定期大会やその都度の選挙などで表明しています。同時に、各分会においても「革新都政をつくる会」が擁立した小池晃氏の推薦を決定し、都知事選勝利のために奮闘することを要請します。

**全国の仲間の援助や励ましで復興に向けて強い決意が!**

東日本大震災現地対策本部から被災地の状況報告が寄せられています。岩手自治労連の組合員が、仲間の訃報に接しながら、復興に向け強い決意が報告されています。

### 悲しい訃報が県本部に

岩手では日を追うにつれ、悲かな知らせが県本部に入ります。多くの方が犠牲になります。組合役員や書記さんの訃報も届きました。被害の大きい岩手県南部の沿岸地域からは、「防災行政無線は、最後の最後

まで津波からの避難を呼びかけ、最後は絶叫で途切れた」という話も伝えられました。

多くの職員が犠牲になった自治体では、組合の仲間が津波にのまれて亡くなり、その方がみんなのために用意していたお茶菓子が水面に浮き上がり、

### 助かった職員は精神も肉体も疲労困憊

一方で、やっと携帯電話がつかまり「おお、無事だったか」という声が、県本部内に広がる

屋上に逃げて助かった20人は、そのお菓子を分け合って生きのびたとのことでした。

また、職場の仲間が津波に押し流されていく姿を目の当たりにした人も多く、これからの心のケアが求められています。



被災者への募金活動

組合員・職員のみなさん、ありがとうございます

# 被災者への引き続き支援をお願いします

ことが何度もありました。被災した職員で、命が助かり、体が動く職員の多くは、被災した当時のまま着替えるものも少なく、車に寝泊りするなどして、この2週間近く、肉体的にも精神的にもぎりぎりのところで日々復旧に向けて奮闘しています。

## 全国からの支援で被災地の職員も力強く奮闘

こうした中、全国の仲間が行政派遣として被災地で活躍し始めています。自治体職員出身のベテラン役員も力強い動きも見せています。釜石で被災し、当所安否不明だった元岩手県本部委員長の前川慧一さん（現釜石自治体一般委員長）は、自宅が流出全壊し、近くの小学校に避難していることが分かりました。

## 被災した住民の要求を提出

前川さんは、岩手自治労連、県合同対策本部、県革新懇とともに、自分と同じ避難所に身を寄せる方々から、緊急・切実な要求を聞き取り、手書きで要求書（仮設住宅の確保、当面の生活資金の支給、健康保健証無しでも受診できるように等10

項目）をつくり、3月21日に釜石市長に提出しました。23日には岩手県に対して緊急の申し入れを行い、要請に対して県の担当者は、「仮設住宅については早急に対応する」「保険証についても柔軟な対応になっている」など、丁寧な回答を行いました。

春も間近い2月、3月は支部も多彩な模様物を開催しました。老若男女が参加したカッター、スキー、長年、保健衛生福祉分野で活躍していただいた、退職者の方を慰労した退職者激励会です。



東日本大震災被災地へ緊急支援カンパの取り組みが進んでいます！  
分会から寄せられたカンパ  
3月28日、480,765円です



病院・衛生局支部退職者激励会

## 生協からのお知らせ

きょう 日時 3月29日(火)  
お昼休み

小玉土佐文旦 (柑橘類)

350円 (kg) 組合員

400円 (kg) その他

1kg 3個ぐらい

衛生局支部書記局 27階南側

※本庁舎以外で取り扱う場合は  
予め連絡ください。

